

屋久島のセミ類について

田 窪 亮 三

香川大学 教育学部 生物学教室

On the Cicadas from the Is. Yaku-shima, Kagoshima Prefecture, Japan  
Ryozo TAKUBO

今日までに、その産地のうちに屋久島と明記されているセミ類には次のものがある。

コエゾゼミ, ヤクシマコエゾゼミ,  
ヒメハルゼミ, オオシマゼミ

以上の他、屋久島の名はないが、日本全土及び九州だけとするされているもののうちに屋久島も含まれているのではないかと考えられるものとして、ニイニゼミ, アブラゼミがある。

我々の今回の採集旅行中(1968年7月28日~8月2日)に採集されたものは、ニイニゼミ, ヤクシマコ

エゾゼミ, アブラゼミであった。これらを総括して一覧表を作れば次のごとくである。

Family CICADIDAE セミ科

Subfamily CICADINAE ホソヒグラシ亜科

Tribe Platypleurini ニイニゼミ族

1. *Platypleura kaempferi* (FABRICIUS, 1794)

ニイニゼミ

Specimens examined - 2♂♂ & 1♀, Ambo, 28.

VII. 1968, M. CHŪJŌ leg.; 1♂ & 2♀ Kurio,

1. VIII. 1968, M. CHŪJŌ leg.; 1♂ & 1♀,

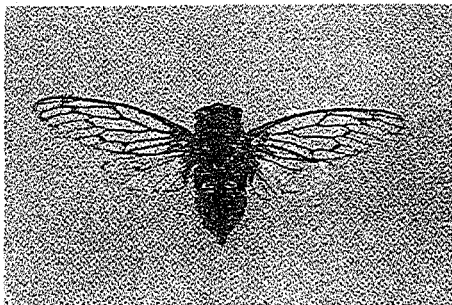


Fig. 1. *Tibicen esakii* KATO, ♂, from the Is. Yaku-shima, Japan (dorsal aspect)

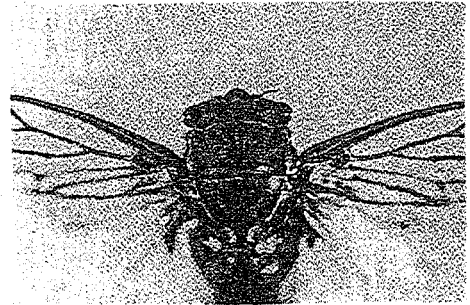


Fig. 3. *Tibicen esakii* KATO, ♂, from the Is. Yaku-shima, Japan (dorsal aspect of head and thorax)

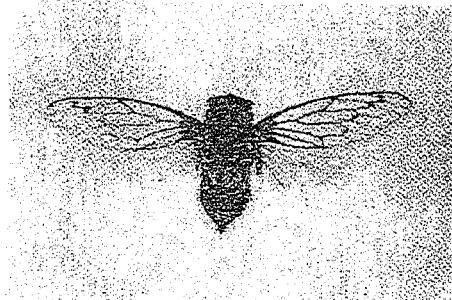


Fig. 2. *Tibicen esakii* KATO, ♂, from the Is. Yaku-shima, Japan (ventral aspect)

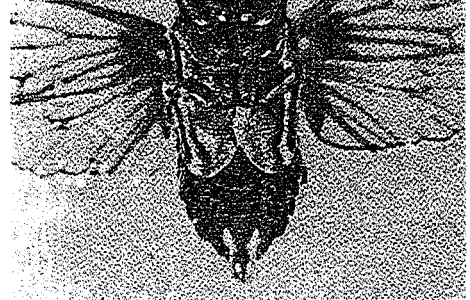


Fig. 4. *Tibicen esakii* KATO, ♂, from the Is. Yaku-shima, Japan (showing the tymbal coverings)

- Kurio, 1. VIII. 1968, R. TAKUBO leg.  
Distribution-Japan (all the islands); Formosa;  
China.  
Tribe Tibicenini エゾゼミ族
2. *Tibicen bihamatus* (MOTCHULSKY, 1861)  
コエゾゼミ  
Distr. - Japan (Hokkaido, Honshu, Shikoku),  
Is. Yaku-shima (after T. ISHIHARA, 1958 &  
1961); Kuriles; Saghalien.
3. *Tibicen esakii* KATO ヤクシマコエゾゼミ  
Spec. exam. - 1 ♂, Hananoeg6, 31. VII. 1968,  
R. TAKUBO leg.  
Distr. - Japan (Is. Yaku-shima).  
Tribe Tacuarini アブラゼミ族
4. *Graptopsaltria nigrofuscata* (MOTSCHUL-  
SKY, 1866) アブラゼミ  
Spec. exam. - 2 ♂♂, Kosugi-dani, 30. VII.  
1968, M. CHŪJŌ leg.; 1 ♂, Kurio, 1. VIII.  
1968, R. TAKUBO leg.  
Distr. - Japan (all the islands); Korea; N. China.  
Tribe Cicadini ホソヒグラシ族
5. *Euterpnosis chibensis* MATSUMURA, 1917  
ヒメハルゼミ  
Distr. - Japan (Honshu, Shikoku, Kyushu,  
Is. Yaku-shima).  
Tribe Dundubini ツクツクボウシ族
6. *Meimna oshimensis* (MATSUMURA, 1905)  
オオシマゼミ  
Distr. - Japan (Kyushu, Is. Yaku-shima);  
Ryukyus (Is. Gwaja-tō, Is. Kikai-jima, Is.  
Amami-Oshima, Is. Okinawa).

以上のうちで、特に注意すべきはヤクシマコエゾゼミの問題である。

筆者の採集したのは、1 ♂ (1968年7月31日、花之江河で、小鳥に追い出され、筆者の目前に落下したものを捕えた) である。なお、鳴いているこのなかまも目撃したが、それは横にのびた広葉樹の枝の下側にとまって、頭を枝先の方に向けていた。採集した1 ♂は、解剖顕微鏡による研究の結果、ヤクシマコエゾゼミと同定して間違いのないものであって(写真 I, II)、以下の点においてコエゾゼミとは明らかに区別される：

1. *bihamatus* には単眼区の両側に縦長の1小褐色紋があるが、*esakii* にはこれがない。
2. 頭頂の両側にある褐黄色紋は、*bihamatus* の方が *esakii* よりも小さく、複眼からはっきりと離れているが、*esakii* はより大きく、複眼に著しく接近している。
3. *bihamatus* の触角上板の前面は黒色で、真上から見ると、この上板の前縁が黒いという状態に見えるが、*esakii* はこの黒色部が上後方へ発達し、真上からもハッキリと黒色不定形紋として認められる。
4. 中胸背のW字紋の左右の腕の傾斜は、*esakii* の方が *bihamatus* のそれよりも弱い。

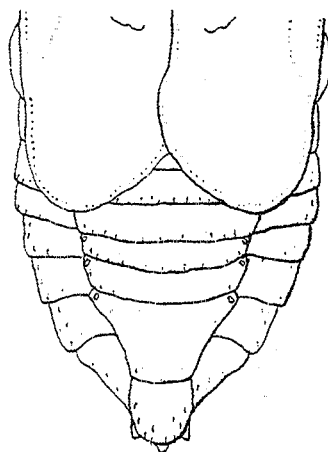


Fig. 5. *Tibicen esakii* KATO, ♂,  
from the Is. Yaku-shima, Japan  
(ventral aspect of abdomen and tymbal  
coverings)

5. *esakii* の中胸側線の黄褐色部は、♂では中央直後が少し細くなっている。*bihamatus* はここで途切れ、この部分が黒くなっているものが多い。
6. 今回の採集品は、腹弁の形状においても確かに *esakii* である。*esakii* の♂の腹弁の形は *bihamatus* よりキウシュウエゾゼミ (*Tibicen kyuushyuensis* KATO) に似て居り、腹弁の先端は第4腹板に達している。(附図参照)。